

悩んでいる方へのメッセージ

拝啓

〇〇様へ

私は常々いろいろな方々に「死」の対極は「生」。

すなわち死を受け止めて、生きぬくことだと言いつけている。

そして、我々の体は借物であり、それは永遠のものではなく、使い続け老化し、いつの日にか返す時が来る。

しかし、とても残念な事が増え続けている。

それは寿命ではなく、与えられた命を放棄してしまう方が後をたたない。

もはや社会現象であり、国や地域、組織、個人に至るまで皆で考えなくてはいけない問題。

1998年から自殺者数が年間3万人以上に増加している。その中で考えてほしいのが男性の自殺者が女性よりも多いという現実。

要因は複数、限りなくあると思うが、女性はたとえ無職でも独身であっても家族や社会の状況に組み込まれて保護されるケースがあるが、男性は無職だったり独身であったりすると、社会的に孤立を余儀なくされることが多い。

また責任感という精神的な部分は男性に強いとされてきたが、実は女性のほうが明らかに強いと思う。結婚し、子どもを産んだ女性はとくにそのように思います。

逝く方も、残される方も本意ではない。人に言えない様々な理由があると思う。

誤解を恐れずに書くとすれば「死ぬ」覚悟があれば何でも出来ると私は思う。

私の祖父もそうだったが戦争に行かれた方々にとって今は決して不況でも何でも無い。

食べ物があるのだから。

どうか生き抜いてください。貴方は1人じゃないのだから・・・

※こちらはイヨダとしてのメッセージではなく、一、個人としてのメッセージになります。

伊與田英史